

2020年7月2日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法を受けた患者の後ろ向き研究」

研究期間：2019年10月から2023年3月までを予定しています。

対象：2018年5月から2019年12月に兵庫県立尼崎総合医療センターにて～

研究目的：

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、診断時年齢・性別・体格・臓器機能、診断時、化学放射線療法効果判定時の Eastern Cooperative Oncology Group - Performance Status (ECOG-PS)、喫煙歴 (Brinkman index)、診断時における間質性肺炎の有無、診断時における自己免疫性疾患の有無、診断時の全身ステロイド投与の有無、その他、診断時の患者背景因子、組織型 UICC TNM 分類 (第8版、T因子、N因子を含む)とその詳細、リンパ節転移に関する詳細、組織型、PD-L1 免疫染色による腫瘍細胞における陽性率 (PD-L1 TPS; Tumor Proportion Score) 等の組織検査上の免疫染色を含めた情報、ドライバー遺伝子変異の有無の有無、NSCLC 診断時およびデュルバルマブ維持療法開始時の血液検査所見があります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：

研究責任者：

兵庫県立尼崎総合医療センター 呼吸器内科 松本 啓孝、平野 勝也
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77
TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001
pbionoek3128891@gmail.com